



筑後市地域自立支援協議会

相談支援部会

令和5年度 第1回
総合福祉センター

令和5年度のテーマ **相談支援体制の充実**

第1回目は…事例検討 相談支援専門員の経験年数でグループ分け

事例 「花子さんが希望する生活を送るために考えられる支援は何だろう」
抱えている課題

- ◆統合失調症と言われました。物の管理や片付けが苦手です。 ◆叔母に支援をしてもらっている。
- ◆入院前はお金の管理が上手くできなかった。欲しいと思ったら我慢ができなくて・・・
- ◆今はお薬は看護師さんから渡されて飲んでいますが。何で入院しちゃったんだろう？自分でも分からない。

出た意見

必要と思う支援



経験6年以上

- ・生活の要となる金銭管理
- ・体調を壊した原因は？
- ・医療との関係が強いので医療の継続
- ・しっかり相談できる人を作る
- ・一緒に片付けし、本人の自尊心をあげる

- ・訪問看護・金銭管理
- ・ヘルパー・後見申請
- ・地域の民生委員につなぐ
- ・一人暮らし体験



経験～5年

- ・物の管理や片付けやお金の管理
- ・日中活動の意向確認
- ・キーパーソンに連絡を取る
- ・主治医や医療機関の意見を聞く
- ・関係者会議

- ・訪問看護・金銭管理
- ・ヘルパー・後見制度
- ・叔母との連携



経験～2年

- ・病気について理解する必要がある
- ・家族関係・叔母・ご近所からの聞き取り
- ・金銭管理・債務があるか
- ・入院中なので関係者から聞き取り情報共有

- ・アセスメントをしっかりとる
- ・訪問看護・金銭管理
- ・ヘルパー
- ・関係者に聞き取り



相談支援事業所以外の
支援機関

- ・日常生活動作（ADL）がどのくらいか確認
- ・本人に会い、困り事、やりたい事掘り下げる
- ・支援者はどのような人が好まれるのか
- ・1人暮らし体験⇒GH提案
- ・退院前に関係者による会議

- ・アセスメント・会議
- ・ヘルパー・デイケア
- ・訪問看護・金銭管理
- ・地域定着支援
- ・叔母との連携
- ・一人暮らし体験

まとめ

今回は、経験年数の近いメンバー同士でグループワークを行うことで、

安心して発言できる場になり、たくさんの意見が出ました。

相談員が一人で、悩みを抱え込まないで良いよう、日頃から相談し合える関係づくりの為に一歩前進できたと思います。

今後も、市内の事業所同士が連携し合える内容を企画していきます！！

